

# 栃木県社会福祉士会会報



〒320-8508 宇都宮市若草1-10-6 発行 一般社団法人栃木県社会福祉士会  
 TEL 028-600-1725 発行責任者 原田 欣宏  
 FAX 028-600-1730 編集責任者 福原 健治  
 ホームページアドレス <http://www.tochigi-csw.org/>

## 50号

発行日 平成30年8月20日

### 羅針盤



## 「新たな理事会のスタート」

一般社団法人栃木県社会福祉士会 会長 原田 欣宏



羅針盤	1
栃木県社会福祉士会新理事・監事紹介	2~4
福祉士おもしろのたけりレー	4
一般社団法人栃木県社会福祉士会組織図	5
授産製品・店舗紹介	6
Voice 会員の声	6~7
福祉士会通信	7~8
共同事務所 6 団体通信	8
編集後記	8

この度の西日本豪雨において亡くなられた方に謹んで哀悼の意を表します。また被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

さて、5月の総会にて新たな理事会が発足しました。16年度改選時より会員理事が6名から13名に増員され、理事会の議論や活動が活発になったことを実感しております。例えば、ブロック活動は実態に合わせて「グッドプラクティス」の支援に切り替えを行い、会員活動の支援の在り方についていくつかの改善を行ってまいりました。また、地域包括ケアシステム委員会は、本会として何をすべきか議論を深め、今後のあり方を提案いただきました。社会調査委員会は研究報告書の発行を10年以上ぶりに発行することもできました。

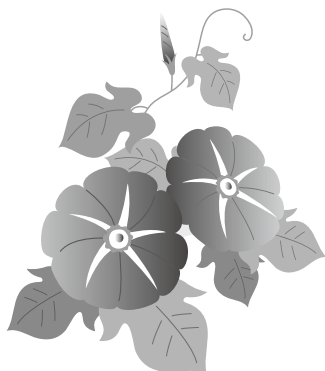
今回の改選では13名中10名の理事が入れ替わることになりました。退任された理事の皆様にはこれまでの尽力に感謝申し上げますとともに、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

新たな理事会体制で臨むこの2年間は「事務局機能の強化」が重要課題であることから、組織体制を大幅に見直しました。具体的には、最近では社会福祉士会会員のコンプライアンスにかかる問題の対応が本会の信用を獲得するために重要となります。その上で、研修事業や権利擁護にかかる活動の充実化が図られることが重要となります。また、2019年度には日本社会福祉士会に委託している会員管理に関する事務の移転が行われることから、会費徴収に関する事務手続きや関係規程類の整備、会計事務の体制強化と一層の効率化が必要な状況となりました。

以上のことから、本理事会はこの2年間における重要事項に対応するために事務局長の勤務日数増加、および総務企画委員会の機能強化を行いました。委員長には篠崎副会長が就任し、会費の値上げや法人後見、あるいは未成年後見など新たな取り組みを議論するため増淵副会長と松本副会長も委員としてこれらの問題に対応します。このほか災害対応担当理事を置き、栃木県が主体として組織される福祉分野での災害対策チームへの参画を軸に、社会福祉士会としての社会貢献体制を整備していきます。権利擁護委員会については、栃木県虐待対応センターにおいて障害分野での対応を目指して、体制強化を図ります。

以上の対応を行った結果、これまで委員会に担当理事を配置していた「地域包括ケアシステム」「調査研究」「TSCS」については統合を行いました。いずれこれらも本会に欠かせない事業であることから、次期以降の理事会で再検討されることになります。

限られた資源で今ある課題を乗り越えるために、今回の理事会は「事務局機能の強化」を軸に本会の発展に尽力していく所存です。皆様のご理解とご協力を賜りたく、改めてお願い申し上げます。



# 栃木県社会福祉士会新理事・幹事紹介

平成30年5月29日に行われた第4回定時総会において新たに理事・監事に就任された皆様を紹介します。掲載内容は、①氏名、②氏名ふりがな、③所属名称、④職種名、⑤マイブーム、⑥社会福祉士の役員になっての抱負

## 会員理事

- ①阿部 和史
- ②あべ かずふみ
- ③有限会社アライ  
社会福祉士事務所 さくら星の宮
- ④社会福祉士 介護支援専門員  
相談支援専門員
- ⑤キックボクシング
- ⑥権利擁護委員会の皆様から推薦をいただき理事に立候補し、この度就任させていただくことになりました。虐待対応センターでは派遣による実績は多かったもののすべて高齢者虐待に対するものでした。理事の立場としましては、高齢分野に偏ることなく、権利擁護を幅広く考え、社会福祉士と言う専門職としての実践の場をさらに増やしていけるよう活動していきたいと考えています。



- ①阿部 千亜紀
- ②あべ ちあき
- ③壬生南地区地域包括支援センター
- ④社会福祉士
- ⑤散歩
- ⑥社会福祉士の資格をとって10年になります。今まで続けられたのは、栃木県社会福祉士会の集まりに参加して、諸先輩方に出会えたからです。入会してよかった、入会したいと思われる職能団体になるよう尽力します。よろしくお願い致します。



- ①小口 みほ子
- ②こぐち みほこ
- ③有限会社ふきのとう
- ④施設長/ケアマネジャー
- ⑤何といっても猫です。我が家のキャッツはもちろんですが、劇団四季のキャッツが久しぶりに東京に戻ってきます。先日チケット発売日に、携帯とパソコンでアクセスしましたが全く繋がらず、繋がった時には希望の席は既に完売でした。次回の発売日こそ頑張ります。
- ⑥今年度より、理事を務めさせていただきます。ばあとなあとちぎ担当です。  
後見活動をしておりまして「後見人って何をしてくれるひとなの？」と聞かれることがあります。成年後見制度がまだまだ知られていない事と、後見人の不祥事の報道などでイメージが悪く、利用されていないからでしょうか。  
後見制度が必要な人達に利用していただけるよう働きかけることができればと思います。微力ですが県士会の発展に貢献できればと考えております。よろしくお願いいたします。



- ①小澤 勇治
- ②おざわ ゆうじ
- ③認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク
- ④フードバンク担当相談員など
- ⑤『岩合光昭の世界ネコ歩き』のビデオを見ること。白戸三平作『カムイ伝全集』を読むこと。
- ⑥医療機関の事務として40年ほど働き医療費支払い困難な方の支援を行ってきました。定年後はフードバンク活動で生活困窮者の支援を始めています。暮らしにくさや生きにくさを抱えながら毎日の生活を送っている人はたくさんいます。「生活困窮者自立支援法」また「こどもの貧困対策法」に基づく取り組みが各地域でも始まっていますがまだまだこれからの感が否めません。NPO法人における専門職の役割や位置づけを栃木県社会福祉士会へ届けたいと考えています。



- ①篠崎 文男
- ②しのざき ふみお
- ③サポートセンター リバティ
- ④個人事業主
- ⑤サッカー観戦と最近はボランティアでサッカー指導を始めました。
- ⑥この度、当会の副会長を務めさせていただくことになりました篠崎文男です。昨年度からの社会福祉評価委員会の委員長も務めながら二刀流で活動していきたいと思っております。具体的な取り組みとしては、当会の事務局体制の強化と社会福祉評価委員会の評価調査者の質の向上に向けた取り組みを行いたいと思っております。会員の皆さまには、指導ご鞭撻を賜りながら職務に励む所存でございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



- ①富田 裕之
- ②とみた ひろゆき
- ③社会福祉法人 千成会 どんぐり亭
- ④管理者兼介護支援専門員
- ⑤pepper（ロボット）を、事業所内での活用拡大のために手懐けています。
- ⑥この度、理事を務めさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願ひいたします。生涯研修センターを担当いたします。会員の皆様のために、お役立ちできるよう努力したいと思います。





- ①野尻 政彦
- ②のじり まさひこ
- ③栃木県社会福祉士会 事務局
- ④事務局長



- ⑤休日でも家事があるので、時間をくって、「積ん読」になっている本を読んだり、気になっている展覧会に出かけたりしています。
  - ⑥・日本社会福祉士会からの業務移管に向けた体制整備と強化、並びに円滑で効率的な実務の実現。
  - ・関東甲信越ブロック内の社会福祉士会との連携の強化。
  - ・県内の各種専門職団体との連携調整を行い、各委員会が円滑な活動を行えるよう支援。
  - ・会員の資質向上のための研修制度の普及定着に向けた後方支援。
- これらを実施・実現できるよう、励んで参ります。

- ①原田 欣宏
- ②はらだ よしひろ
- ③高崎健康福祉大学
- ④教員



- ⑤通勤用のバッグを買い換えました。コンパクトに出張するための道具選びが小さな楽しみです。
- ⑥ソーシャルワークは社会を「良い方向」に導くための細やかな作業を積み重ねることです。わずかな変化をみんなで取り組めば、社会が動くことを実感できる活動をしていきたい。

- ①菱沼 勲
- ②ひしぬま いさお
- ③相談支援センターきらり
- ④相談支援専門員
- ⑤アクアリウム



- ⑥権利擁護委員会の中で、障害分野での虐待対応センターの設置準備を担当することとなりました。これから学ばなければいけないこと、やるべきことはたくさんありますが、色々な方の力を借りながらやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

- ①蛭田 真弓
- ②ひるた まゆみ
- ③国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科
- ④助教



- ⑤食えることが好きなので、これまでに行ったことのないお店を探し歩くのがブームです。ジャンルは、ラーメン屋、焼肉屋、カフェなど…色々です。
- ⑥今年度より理事を務めさせていただくことになりました。これまで本会の活動として、実習指導者養成プロジェクトチームにおいて、他の委員の方々と共に実習指導者養成に係る研修会の実施に努めて参りました。研修会を通して社会福祉士同士の新たな繋がりも生まれており、社会福祉士のネットワークのさらなる活性化の必要性を実感しています。これま

での活動の経験を活かし、栃木県社会福祉士会の発展に貢献できればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

- ①福原 健治
- ②ふくわら けんじ
- ③社会福祉法人至誠会 特別養護老人ホーム晴風園
- ④事務長



- ⑤子供の部活動の追っかけは卒業したので、今年から自分の趣味や身体を動かすことにチャレンジしています。ジョギング、ソフトボール、テニス、卓球、サイクリング、カラオケ、海釣りなど、もちろん仕事も頑張っております。
- ⑥今年度から理事に就任させていただくことになりました。担当は広報委員会ということで、広報誌は前任の長委員長が協力してくださるので安心して出来ませんが、ホームページ更新とメルマガ配信の強化という使命を会長から仰せ付けられましたので、会員の皆様のお役に立てるように努力したいと思います。

- ①増渕 祐子
- ②ますぶち ゆうこ
- ③地域包括支援センター秋桜の家
- ④管理者・主任ケアマネ
- ⑤モモちゃん（雌の黒バグ）
- ⑥今回2期目を務めさせていただきます。



1期目の2年間においては理事としての役割を十分担うことが出来ておりませんでした。1期目を終え、やっと理事会や会の運営というものが具体的に見えてきたところです。1期目で学んだことや経験を活かして自分に課せられた役割を全うすべく、会長のサポートそして会費額変更についての取り組みはもちろん、会員増員や課題解決に向けて組織の発展に尽力したいと思います。

- ①松本 裕行
- ②まつもと ひろゆき
- ③NPO法人 両毛ケアサービス
- ④生活相談員 兼 介護職
- ⑤山と珈琲



- ⑥今年度の総会においての役員改選で副会長に就任致しました松本裕行と申します。一人の社会福祉士として栃木県民の福祉の向上を目指すべく、これまで本会を牽引されてきた歴代の役員の方々の意志を引き継ぎながら、原田会長をはじめ新役員の方々と共に取り組んでいきたいと思っております。未熟者ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

### 外部理事

- ①高橋 昭彦
- ②たかはし あきひこ
- ③ひばりクリニック 認定特定非営利活動法人うりずん
- ④院長/理事長
- ⑤かぶりものをして小児在宅医療を



行うこと

⑥微力ながら、理事を務めさせていただきます。私は、小児科医、家庭医として、在宅ケアや医療的ケアが必要な方の暮らしに関わってきました。また、子どもの貧困や虐待、健康の社会的決定要因にも関心があります。皆様と一緒に、社会福祉の向上について取り組んでいければと思います。



- ①石井 信行
- ②いしい のぶゆき
- ③至誠法律事務所
- ④弁護士
- ⑤昨年より登山を始めました。
- ⑥外部理事として初めて参加させていただきます。栃木県社会福祉士の発展のために、法律家という観点からご助言できれぱと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



**監 事**

- ①新井 重陽
- ②あらい しげあき
- ③一般社団法人つばさ 小川事業所
- ④施設長
- ⑤大田原市の保健師の指導により2年ほど前から行っているレコーディングダイエット（私のメタボボ

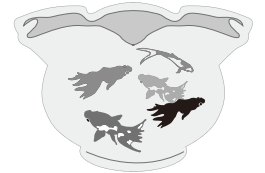


イ捨て日記)。

⑥理事会に出席できないことが多く、社会福祉士の様々な活動にも参加できていない状況なので申し訳なく思っています。昨年4月から勤務している障害児者の通所支援事業所では、社会福祉士会からの情報などを活用させていただいています。この4月に放課後等デイサービス事業などの報酬改定があり収入減も見込まれますが、支援の質の向上に努めている現場の声が制度に反映されるよう、頑張っていきたいと思ひます。



- ①渡辺 みゆき
- ②わたなべ みゆき
- ③栃木県ホームヘルパー協議会
- ④副会長
- ⑤草むしり
- ⑥栃木県社会福祉士の益々のご活躍期待しています。今年度もよろしくお願ひいたします。



# 福祉士 おもいのたけリレー

県内で活躍する社会福祉士が、実践への「おもいのたけ」を語っていくコーナーです。このコーナーは、リレー方式で次の社会福祉士につないで掲載していきます。  
掲載内容：①氏名(ひらがな)、②所属、③趣味、④実践へのおもいのたけ

- ①中野 雄大 (なかの たけひろ)
- ②おたわら総合在宅ケアセンター
- ③野球、バイク
- ④『森 進一です』第一声で、笑いをとる。これが私のコミュニケーションです。利用者さんは笑顔になってくれて、中には「似てるわ!」「歌ってみろ!」なんて言うくださる方もいらっしやいます。音痴なので歌えません...

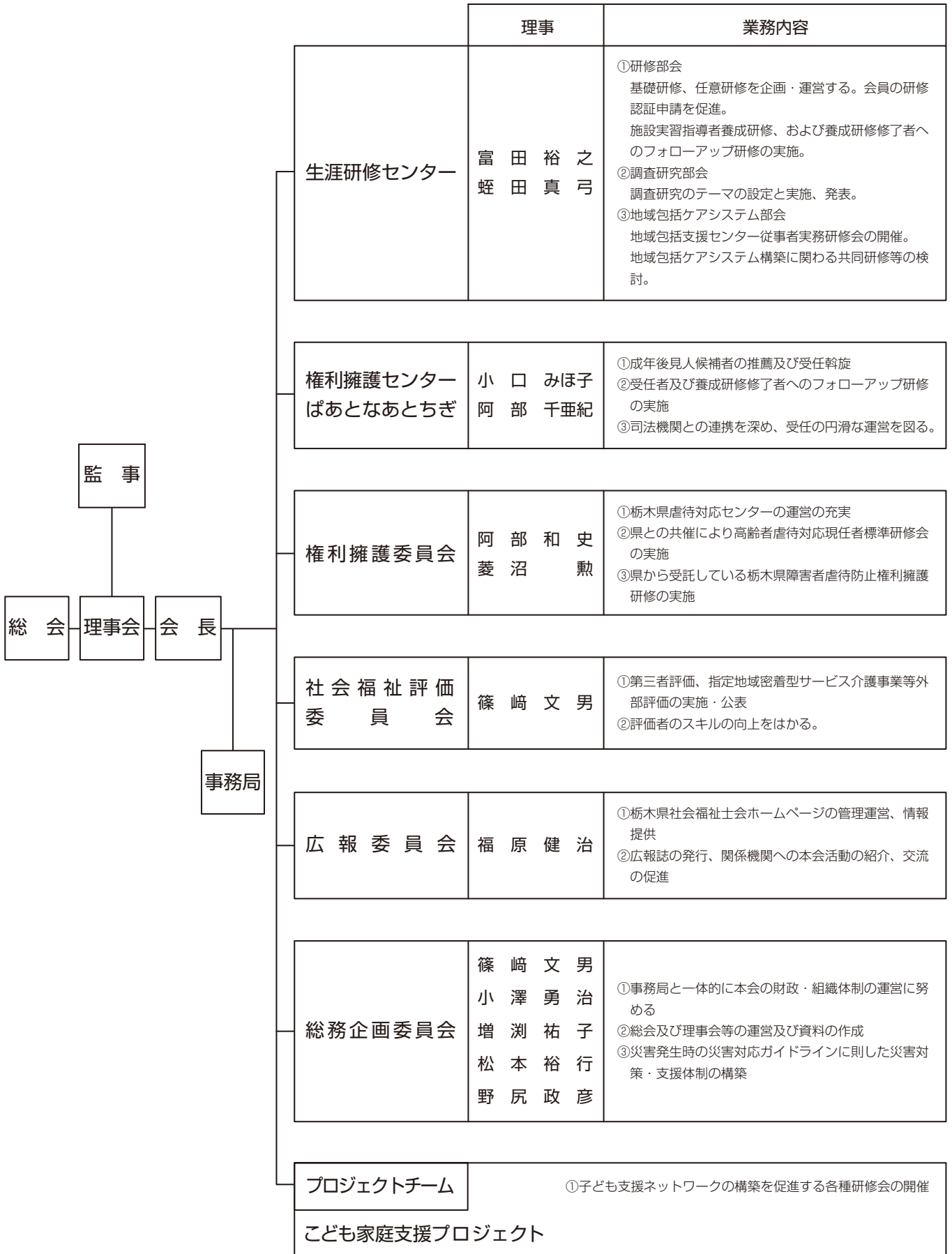


私は828gの未熟児で生まれ、保育器に3ヶ月間入っていました。チューブが声帯に当たって変形してしまい、隙間が空いて閉じないためハスキーボイスになったと昔小児科の先生から聞きました。肺活量は人並みですが、息が隙間から漏れてしまうので「風邪をひいてるの?」「聞こえない」など言われることがありました。自分自身では皆と同じように話しているつもりなので一時期は自分の声に悩むこともありましたが、しかし、幼い頃から親に「お前は小さい頃から大きな手術をして、たくさんのお世話になって今生きているんだよ」と言われ続けてき

たことを思い出し、いつしか「自分は話すことは苦手だけど人の話を聞ける耳がある」と思うようになりました。それがこの道を選んだきっかけです。

大学に入り安易な考えで社会福祉士を目指したものの、実際には聞くだけでなく他機関との連絡・調整など「話す」ことも重要な業務であることを勉強していくうちに知りました。現在、生活相談員という立場で様々な方々と連絡・調整、苦手な電話連絡をしますが、幸い皆さん一度話すと覚えてくださることが強みです。実習で来る学生さんには必ず福祉を目指したきっかけを聞くようにしています。送迎や入浴、相談員業務とバタバタの毎日で忙しいです。相談員としての技術はまだ未熟ではありますが少しでも利用者さんが笑顔で楽しんで帰って頂けるように、これからも頑張っていきたいです。今回は、栃木市社会福祉協議会の惣福 輝美さんにバトンをつなぎます。

平成30年度 一般社団法人 栃木県社会福祉士会 組織図





## 授産製品・店舗紹介

このコーナーでは、障害のある方々が作る授産製品や販売する店舗をご紹介します。

### 社会福祉法人 すぎなみき会

多機能型障害福祉サービス事業所「みどりのき」

住所：日光市板橋178-29

電話：0288-25-3294

営業時間：9時～16時

(ランチタイムは11時～14時)

定休日：日・月

HP：https://www.suginanikikai.jp



みどりのきは、主たる事業所、従たる事業所、出張所がありますが、今回は主たる事業所と出張所の就労継続支援B型で実施している事業をご紹介します。

主たる事業所はJ R日光線下野大沢駅東口を南へ約350メートルの場所に平成29年12月オープンした地域生活支援拠点すぎなみきタウンにあります。駅の近くと言う事もあり施設の周辺は住宅地が広がり徒歩圏内に銀行、郵便局、スーパー、コンビニ、市の出張所があり大変良い環境にあります。ここでは、Coffee & Bakery Carrefour (カルフル) でのパン・カフェ事業と Hairsalon nico2 (にこにこ) での美容室事業を実施しており、それぞれで利用者さんたちが活躍しております。

カフェの店名 Carrefour ですが、栃木県の障害者文化祭「カルフルとちぎ」の語源となっているフランス語で、意味は「交差点」です。「障害のある人もない人も 大人も 子どもも お年寄りも 気軽に立ち寄り交流できる」そんなお店をイメージしております。また、美容室の店名「nico2」ですが、「心落ち着く空間でお客様に笑顔を提供し、そしてお客様も笑顔になれる」そんなお店をイメージしております。

Carrefour では、焼き立てのパンの販売とランチを提供しております。パンは食パン、バゲット、焼きカレーパン、ピリ辛野沢菜パン等の各種惣菜パンがあり、男性栄養士が生地作りから頑張っております。ご近所



の方や市外の方もご来店いただいております。毎日完売の状況です。ランチは月替わりのメニュー3種となっております。女性栄養士が腕によりを振っております。中でもシェフのお任せランチが大人気です。利用者さんは、お客様へお冷を出したりコーヒーやデザートを運んだりパン生地

の成形をしたりと大活躍しております。

nico2では、美容師の資格のある職員がお客様のカットやパーマ、カラー、ヘッドスパ等を行い、利用者さんがお客様の対応やカット後の髪の毛の片付けやタオルの準備をしています。



平成30年4月からは出張所として「道の駅日光 日光街道ニコニコ本陣」内の商業棟に「カルフルキッチン」のスペースがあり Carrefourで作ったお弁当やお惣菜、デザートを搬入し販売しております。さらに、カウンター席8席分のカフェ「本陣カフェ」も棟内にあり職員1名と利用者さん1名がコーヒー等のソフトドリンクやソフトクリームを提供、また「日光地ビール」の生ビールを提供しております。人気メニューは日光市内にある明治の館のチーズケーキ「ニルバーナ」とコーヒーのケーキセットです。お近くに来た際にはぜひお立ち寄りください。



(副施設長 井上 憲一)

## Voice 会員の声

このコーナーでは、会員からの投稿を掲載します。日頃の思っていることや実践での課題などを投稿してみませんか。投稿を希望される方は、事務局までご連絡下さい。担当者より連絡させていただきます。

### 高齢者の年金と就労

社会福祉法人 壬生町社会福祉協議会

壬生町子ども発達支援センタードリームキッズ

大橋 誠



会報を毎回読ませていただき、社会福祉士としての役割を再確認させていただいているところです。さて、会報を読ませていただくなかで、多くの会員の皆様に、私なりの高齢者の年金と就労に関しての意見を投稿したいと考えました。拙論ではありますが、多くの方々に読んでいただければと思います。

60歳になった私は、2018年3月末で定年退職し、現在再雇用として働いています。退職や老後という言葉が現実のものとなりました。同世代の友人達も、子

もの話題から年金を含めた退職後の生活や健康のことになりつつあります。

老後の生活には、年金による金銭的な支援は欠かせません。以前に届いた「ねんきん定期便」の「老齢年金の見込額」をみて、私の基礎年金は65歳から、比例報酬額は63歳から給付されることが分かりました。年金額が多いか少ないかは判断できませんが、生活設計の目安になります。私は、老後の生活に必要な要素として、年金に加え、働く喜びを感じられる仕事を求めたいと思っています。

私のお気に入りのテレビ番組に、主に退職後の生き方を取り上げるドキュメンタリーがあります。そこに登場する人々の多くは、特技や趣味を活かした仕事から生活の糧を得、地域の方々との交流を深め、健康で生き生きと生活しています。平均寿命が延びるなかで、いくつになっても働きがいがある姿にうらやましさを感じ、毎回楽しみに見えています。登場する人達の生

活は、年金を合わせた収入で成り立っていることがうかがえます。私も、年金を受給するようになって、ある程度の収入が得られる仕事を持ち続けたいと願います。

そのように思うもう1つの理由は、若者にとっての「世代間扶養」に危惧を抱いていることにあります。年金は、今働いている若者からの保険料が充てられる「仕送り方式」に頼っています。私達夫婦には二十代、三十代の子どもが3人います。子ども達がこれから支払い続ける保険料を思うと、過度の負担（つけ）を後世に残さないようにしたい。そのためには、年金受給者は、ある程度の減額（痛み）を受入れざるを得ないのではないのでしょうか。言い換えれば、今日の経済不況

のもとで必要なのは、世代間の連帯＝「逆世代間の扶養」と考えたい。そしてその代り、その不足分を働きのある仕事から収入を得ることで補いたいと思います。年金改革法が成立した今、年金の受給も不安定になることが予想され、その思いはさらに強まっています。

そのためには、働きのある就労を実現できる支援策として、年をとってもその人に合った多種多様な雇用の場をつくり、年金プラスアルファの収入が得られる高齢者にやさしい社会づくりを切に望みます。そして、私たちにできることとして、いつまでも元気でいられるよう健康管理に留意することを忘れてはならないと思います。

栃木県社会福祉士会の委員会・PT（プロジェクトチーム）の活動を紹介する掲示板です。

# 福祉士会通信

\*社会福祉士の皆さま、日頃の実践の質を高めるため、福祉士同士の輪をつくるため、是非会活動に参加しましょう。福祉士以外の方におかれましては、研修会等を企画しております。是非ご参加ください。  
お問い合わせは、栃木県社会福祉士会までお願いします。

## 生涯研修センター、ばあとなあとちぎ、社会福祉評価委員会、広報委員会

### 生涯研修センター

#### ○研修部会

##### ・基礎研修

富田 裕之

社会福祉士となって生涯研修のスタートとなる基礎研修を運営しています。基礎研修は、ⅠからⅡ、更にⅢへと1年毎に段階を進んでいきます。事前・事後の課題や講義・グループワーク、修了レポートを経て学びを深めていくこととなります。他分野の社会福祉士との交流が持て、とても有意義な研修となること間違いなしです！（認定社会福祉士や、成年後見人材育成研修・名簿登録研修を目指す方は、必須となります。）まだ受講されていない方はいませんか？担当スタッフ一同、お待ちしております。

##### ・独自（任意）研修

富田 裕之

栃木県独自の研修を企画・運営しています。第1回目を、「相談援助記録の実践的な書き方」と題して、国際医療福祉大学教授の小嶋章吾氏をお招きし、7月21日（土）に開催しました。約70名の方に受講いただき、大盛況でした。

第2回目は、11月25日（日）に「あらためて相談援助技術を学ぶ（仮）」と題して、日本福祉大学教授の保正友子氏をお招きし、開催する予定です。皆様のご参加お待ちしております。

##### ・実習指導者養成研修

蛭田 真弓

実習指導者養成研修部会は、社会福祉士の後継者育成、実習受入施設・機関の拡充を目指し、「社会福祉士実習指導者講習会」および「実習指導者フォローアップ研修」の開催を主な活動としています。

今年度は、11月17日（土）にフォローアップ研修を開催いたします。研修テーマは、実習指導者講習会を修了した皆様から要望の多かった“実習プログラムの作成”です。是非ご参加ください。

#### ○調査研究部会

大石 剛史

2016年度と2017年度の2年間で行った「栃木県における高齢者の貧困状況の実態とその支援のあり方に関

する調査研究」の報告書を、昨年度末にようやくまとめ、皆さんのお手元に届けることができました。明らかになったのは「貧困に陥るパターン」と、現時点での県内の「支援の脆弱性」です。ぜひご一読いただき、それぞれの立場で研究結果を活かしていただければ幸いです。今年度以降の研究は未定ですが、調査研究部会に参加したい、こんなテーマを取りあげて欲しいなどの要望があれば、ぜひご連絡ください。

#### ○地域包括ケアシステム部会

山口 真

- ・地域包括支援センター従事者実務研修会の開催により専門性及び運営・企画力を深める。
  - ・地域包括支援センター従事者の意見交換会及び事例検討会を開催し、センターの問題解決能力を高める。
  - ・県内市町の地域包括支援センターの連絡協議会の運営の充実に努める。
  - ・栃木県地域包括・在宅介護支援センター協議会、栃木県看護協会、とちぎケアマネジャー協会との積極的な共同研修を検討する。
  - ・権利擁護委員会との定期的学習会を開催する。
- 以上の5点の取り組みを目指します。

#### ばあとなあとちぎ（略称：ばあとち）

児玉 幸弘

全国最下位を争う人口比成年後見申立件数の栃木県にも変化が出てきたようです。ばあとちでは年度開始4ヶ月で候補者推薦依頼件数が増加、障がい者の申立、さらに後見一辺倒だった類型が保佐や補助が増加。

昨年成立した成年後見制度利用促進法と利用促進計画ではソーシャルワークが注目されています。いよいよ、社会福祉士の役割が期待される時代、ばあとちとしては受任者と受任候補者の量と質の向上に取り組みます。

#### 社会福祉評価委員会

篠崎 文男

社会福祉評価委員会の主な活動は、第三者評価と外部評価です。第三者評価の活動は、福祉サービス事業者の提供するサービスの質を客観的な立場から評価する事業です。外部評価の活動は、認知症対応型共同生



活介護事業者が自ら行う自己評価を評価機関が第三者として客観的に評価する事業です。どちらの評価活動も事業所の欠点を指摘したり、指導するのではなく、事業所の努力・工夫している点を評価する活動を行っています。

広報委員会

長 秀紀

今回の会報は、新しくなった栃木県社会福祉士会の紹介を中心にさせていただき、また、今回初めて会員の方から投稿をいただき、voice という投稿のコーナーを設けさせていただきました。読者の会員や関係機関の方から「毎回楽しみに読んでいます」という声を伺う

機会も増え、委員会としても励みとなっております。次号は平成30年1月下旬発行予定です。ご期待下さい。広報委員会では、会員および関係機関の皆様へ会報誌およびホームページ等で実践の直結する有用な情報発信をさせていただいています。広報活動の一層の充実を図るため、広報活動を一緒に行っていただける会員の方を募集しています。広報活動を通してネットワークが広がると思います。定期的に委員会（現在のところ佐野市）を開催していますが、遠方の会員についてはメールや郵送などでやり取りさせていただいております。お問合せは、社会福祉士会事務局までぜひお願いします。

共同事務所  
6 団体通信

ソーシャルケアサービス共同事務所に所属している各団体の活動を紹介する掲示板です。

栃木県精神保健福祉士会

会長 稲見 聡

【今年度実施した研修会・事業等】

- 6/10 第1回研修会「地域包括ケアシステムを学ぼう～精神保健福祉士に求められるもの～」地域包括ケアシステム構築支援事業都道府県密着アドバイザー 遠藤 真史氏
- 7/22 関東ブロック合同研修会「必見！新時代の支援観～これからの精神保健福祉士に求められることと自分の育て方～」

【これから実施予定の研修会】

- 9/9 日本精神保健福祉士協会生涯研修制度 基幹研修Ⅰ
- 11～12月頃 栃木県精神衛生協会との共済研修 H31年1/19（土）会員による実践報告会

【メッセージ】

精神保健福祉士はまだ社会的な知名度が低い専門職だと感じています。その反面、働く場は精神科病院や障害福祉サービス事業所のみならず、今や行政、教育機関、司法関係機関、児童福祉関係など急速に拡大しており、その果たすべき役割も多岐にわたるようになりました。そのような中で、精神保健福祉士としてのアイデンティティを見失うことなく、多職種の皆さまと協働できる専門職の育成にも力を入れていきたいと考えております。

6団体の皆さまと協力しながら、互いの強みを活かしつつ、社会貢献を果たしていきたいと思っておりますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

栃木県社会福祉士会

事務局長 野尻 政彦

〈総会報告〉

去る5月26日（土）午後、とちぎ福祉プラザ福祉研修室において、第5回定時総会を開催しました。原田会長、各委員会委員長から平成29年度事業報告があり、次いで、増田前事務局長、渡辺監事による、平成29年度収支決算及び監査報告がありました。いずれも全員一致をもって承認されました。続いて、役員選任案について信任投票を実施する



旨、説明があり、出席会員による投票が行われました。開票の結果、内部理事13名、外部理事2名、監事2名、全員の信任が得られました。その後、総会を休憩として、臨時理事会が開催され、会長、副会長、事務局長の選定、承認が行われました。総会再開後は、平成30年度事業計画、平成30年度収支予算、規程の改正、それぞれについて報告があり、閉会いたしました。

各役員については、役員紹介のページをご覧ください。今年度は、一部の委員会において改編を行い、別紙組織図の通りとなっております。

【会報についてのご意見を募集します！】

取り上げて欲しい内容や会報の感想をお寄せください。ご意見は、「会報の意見」とタイトルをつけて、事務局 FAX (028-600-1730) まで送ってください。差し支えなければ氏名、連絡先をご記入ください。匿名でも結構です。皆さまの貴重なご意見を会報作りの参考にさせていただきます。

編集後記

ロシアワールドカップ、世界の強国に対して日本の個でなく組織で闘い点数を決める姿に感動しました。学生時代サッカー部でしたが、10年以上サッカーボールを追いかけていませんが久しぶりにサッカーをしたくなりました。

(高橋)